

新株式発行並びに株式売出届出目論見書の訂正事項分 (2021年9月 第1回訂正分)

株式会社アスタリスク

ブックビルディング方式による募集の条件及びブックビルディング方式による売出しの条件等の決定に伴い、金融商品取引法第7条第1項により有価証券届出書の訂正届出書を2021年9月9日に近畿財務局長に提出しておりますが、その届出の効力は生じておりません。

○ 新株式発行並びに株式売出届出目論見書の訂正理由

2021年8月25日付をもって提出した有価証券届出書の記載事項のうち、ブックビルディング方式による募集350,000株の募集の条件及び募集に関し必要な事項を2021年9月8日開催の取締役会において決定し、並びにブックビルディング方式による売出し(オーバーアロットメントによる売出し)52,500株の売出しの条件及び売出しに関し必要な事項が決定したため、これらに関連する事項並びに「第二部 企業情報 第2 事業の状況 1 経営方針、経営環境及び対処すべき課題等 (5) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題」、「第二部 企業情報 第2 事業の状況 3 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 (2) 経営者の視点による経営成績等の状況に関する認識及び分析・検討内容」及び「第二部 企業情報 第3 設備の状況 3 設備の新設、除却等の計画」の記載内容の一部を訂正するため、有価証券届出書の訂正届出書を提出いたしましたので、新株式発行並びに株式売出届出目論見書を訂正いたします。

○ 訂正箇所及び文書のみを記載してあります。なお、訂正部分には____罫を付し、ゴシック体で表記しております。

第一部 【証券情報】

第1 【募集要項】

1 【新規発行株式】

<欄外注記の訂正>

(注) 2. 当社の定める振替機関の名称及び住所は、以下のとおりであります。

名称：株式会社証券保管振替機構

住所：東京都中央区日本橋茅場町二丁目1番1号

3. 上記とは別に、2021年8月25日開催の取締役会において、野村證券株式会社を割当先とする当社普通株式52,500株の第三者割当増資を行うことを決議しております。

なお、その内容については、「募集又は売出しに関する特別記載事項 2. 第三者割当増資とシンジケートカバー取引について」をご参照下さい。

(注) 2. の全文削除及び3. 4. の番号変更

2 【募集の方法】

2021年9月17日に決定される予定の引受価額にて、当社と元引受契約を締結する予定の後記「4 株式の引受け」欄記載の金融商品取引業者(以下「第1 募集要項」において「引受人」という。)は、買取引受けを行い、当該引受価額と異なる価額(発行価格)で募集(以下「本募集」という。)を行います。引受価額は2021年9月8日開催の取締役会において決定された会社法上の払込金額(2,618円)以上の価額となります。引受人は払込期日までに引受価額の総額を当社に払込み、本募集における発行価格の総額との差額は引受人の手取金といたします。当社は、引受人に対して引受手数料を支払いません。

(略)

<欄内の数値の訂正>

「ブックビルディング方式」の「資本組入額の総額(円)」の欄：「495,880,000」を「513,590,000」に訂正。

「計(総発行株式)」の「資本組入額の総額(円)」の欄：「495,880,000」を「513,590,000」に訂正。

<欄外注記の訂正>

(注) 3. 発行価額の総額は、会社法上の払込金額の総額であります。

5. 仮条件(3,080円～3,300円)の平均価格(3,190円)で算出した場合、本募集における発行価格の総額(見込額)は1,116,500,000円となります。

3 【募集の条件】

(2) 【ブックビルディング方式】

<欄内の数値の訂正>

「払込金額(円)」の欄：「未定(注)2」を「2,618」に訂正。

<欄外注記の訂正>

(注) 1. 発行価格は、ブックビルディング方式によって決定いたします。

仮条件は、3,080円以上3,300円以下の価格といたします。

当該仮条件は、当社の事業内容、経営成績及び財政状態、事業内容等の類似性が高い上場会社との比較、価格算定能力が高いと推定される機関投資家等の意見及び需要見通し、現在の株式市場の状況、最近の新規上場株の株式市場における評価並びに上場日までの期間における価格変動リスク等を総合的に検討して決定いたしました。

発行価格は、当該仮条件による需要状況、上場日までの価格変動リスク等を総合的に勘案したうえで、2021年9月17日に引受価額と同時に決定する予定であります。

需要の申込みの受付に当たり、引受人は、当社株式が市場において適正な評価を受けることを目的に、機関投資家等を中心に需要の申告を促す予定であります。

2. 「2 募集の方法」の冒頭に記載のとおり、発行価格と会社法上の払込金額(2,618円)及び2021年9月17日に決定される予定の引受価額とは各々異なります。発行価格と引受価額との差額の総額は、引受人の手取金となります。
8. 引受価額が会社法上の払込金額(2,618円)を下回る場合は新株式の発行を中止いたします。

4 【株式の引受け】

<欄内の記載の訂正>

「引受株式数(株)」の欄の各引受人の引受株式数：「未定」を「野村證券株式会社311,500、株式会社SBI証券21,000、大和証券株式会社7,000、SMB C日興証券株式会社3,500、楽天証券株式会社3,500、岩井コスモ証券株式会社3,500」に訂正。

<欄外注記の訂正>

(注) 1. 上記引受人と発行価格決定日(2021年9月17日)に元引受契約を締結する予定であります。

2. 引受人は、上記引受株式数のうち、2,000株を上限として、全国の販売を希望する引受人以外の金融商品取引業者に販売を委託する方針であります。

(注) 1. の全文削除及び 2. 3. の番号変更

5 【新規発行による手取金の使途】

(1) 【新規発行による手取金の額】

<欄内の数値の訂正>

「払込金額の総額(円)」の欄：「991,760,000」を「1,027,180,000」に訂正。

「差引手取概算額(円)」の欄：「979,760,000」を「1,015,180,000」に訂正。

<欄外注記の訂正>

(注) 1. 払込金額の総額は、会社法上の払込金額の総額とは異なり、新規発行に際して当社に払い込まれる引受価額の総額であり、仮条件(3,080円～3,300円)の平均価格(3,190円)を基礎として算出した見込額であります。

(2) 【手取金の使途】

上記の手取概算額1,015百万円については、「1 新規発行株式」の(注)3.に記載の第三者割当増資の手取概算額上限154百万円と合わせて、設備資金として、①研究所ビル建設費用及び②研究開発・評価設備の取得費用に、借入金の返済として③研究所ビル建設用地取得のための短期借入金の返済に充当する予定であります。具体的な資金使途及び充当予定時期は以下のとおりであります。

①研究所ビル建設費用

研究開発・製品評価を実施する研究施設拡充のため研究所の建設費用として、2022年8月期に356百万円、2023年8月期に235百万円を充当予定であります。開発速度の向上、顧客へのアフターフォロー、品質トラブルへの迅速な対応などが可能となる予定です。

②研究開発・評価設備の取得費用

新製品の開発・試作品評価用設備の取得費用として、2023年8月期に20百万円を充当予定であります。主力製品でありますAsReaderの研究開発の推進と、製品評価を社内で行える体制を構築し、新製品の販売のスピード化を図ります。

③研究所ビル建設用地取得のための短期借入金の返済

①の研究所ビル建設用地292百万円取得のための短期借入金の返済のため、2022年8月期に300百万円を充当する予定であります。

また、残額については、運転資金として2022年8月期の保有在庫増加のための仕入資金に充当する方針であります。

なお、具体的な充当時期までは安全性の高い金融商品等で運用する予定であります。

第2 【売出要項】

1 【売出株式（オーバーアロットメントによる売出し）】

<欄内の数値の訂正>

「ブックビルディング方式」の「売出価額の総額(円)」の欄：「161,700,000」を「167,475,000」に訂正。

「計(総売出株式)」の「売出価額の総額(円)」の欄：「161,700,000」を「167,475,000」に訂正。

<欄外注記の訂正>

(注) 5. 売出価額の総額は、仮条件(3,080円～3,300円)の平均価格(3,190円)で算出した見込額であります。

6. 振替機関の名称及び住所は、「第1 募集要項 1 新規発行株式」の(注)2.に記載した振替機関と同一であります。

【募集又は売出しに関する特別記載事項】

2. 第三者割当増資とシンジケートカバー取引について

オーバーアロットメントによる売出しの対象となる当社普通株式は、オーバーアロットメントによる売出しのために、主幹事会社が当社株主であるトリプルウィン株式会社(以下「貸株人」という。)より借入れる株式であります。これに関連して、当社は2021年8月25日開催の取締役会において、主幹事会社を割当先とする当社普通株式52,500株の第三者割当増資(以下「本件第三者割当増資」という。)を行うことを決議しております。本件第三者割当増資の会社法上の募集事項については、以下のとおりであります。

(1) 募集株式の数	当社普通株式 52,500株
(2) 募集株式の払込金額	<u>1株につき2,618円</u>
(3) 増加する資本金及び資本準備金に関する事項	増加する資本金の額は割当価格を基礎とし、会社計算規則第14条第1項に基づき算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とし、計算の結果1円未満の端数が生じたときは、その端数を切り上げるものとする。また、増加する資本準備金の額は、資本金等増加限度額から増加する資本金の額を減じた額とする。(注)
(4) 払込期日	2021年10月29日(金)

(注) 割当価格は、2021年9月17日に決定される予定の「第1 募集要項」における新規発行株式の引受価額と同一とする予定であります。

(注) 1. の全文及び2. の番号削除

(以下省略)

第二部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

1 【経営方針、経営環境及び対処すべき課題等】

(5) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

⑧ 特許戦略の構築

(省略)

(特許係争に関する注意事項)

株式会社ファーストリテイリング（株式会社ユニクロと株式会社ジーユーを含む。）と係争中の特許（特許第6469758号等、以下「当該特許類」）につきましては、一連の特許全てを株式会社NIPに譲渡しております。

当該特許類は、複数の商品が入ったカゴをレジの所定の場所に置くと、商品ごとに取り付けられているRFIDタグを読み取り、商品と購入額を特定し会計を行う、セルフレジで使われている特許になります。

当該特許類に関する裁判や特許庁での対応につきましても、すでに株式会社NIPが主体として実施されております。

(当該係争の当社グループに与える影響)

当社は発明者の立場であり、無効審判等の参加人や差止請求時の請求人として名前は残っておりますが、特許無効化の動きに対して抗弁するためであり、上述のとおり全ての判断は譲渡先である株式会社NIPが行っております。このため、当該特許類に関する裁判の判決結果及び損害賠償やライセンス料における交渉等の進展があった場合でも、株式会社NIPと当社の特許譲渡契約において、当社に責任が及ぶものや当社が受領する対価はなく、今後の当社グループの経営成績への影響はございません。

なお、当該特許類の譲渡と同時に当社は当該特許類の実施許諾を株式会社NIPより受けて今までどおり商品やサービスの提供を継続することが可能ですが、当該特許類を用いた製品・サービスの提供を予算には織り込んでおりません。したがって、当該特許類の特許存続がどのような結果になっても、予算の達成に与える影響はございません。

3 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(2) 経営者の視点による経営成績等の状況に関する認識及び分析・検討内容

① 重要な会計上の見積もり及び当該見積もりに用いた仮定

(省略)

なお、当社グループの連結財務諸表で採用する重要な会計方針は「第5 経理の状況 1 連結財務諸表等 (1) 連結財務諸表 注記事項 (連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)」に記載のとおりです。

第3 【設備の状況】

3 【設備の新設、除却等の計画】 (2021年7月31日現在)

重要な設備の新設、除却等の計画は次のとおりであります。

(1) 重要な設備の新設

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定金額		資金調達 方法	着手及び完了予定年月		完成後の 増加能力
				総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了	
当社	大阪本社 (大阪市淀川区)	AsReader事業	新型 AsReader とケースの金 型	25,000	-	自己資金	2020年9月	2021年8月	(注)2
当社	大阪本社 (大阪市淀川区)	AsReader事業	物流システム RFID化(社内使 用)	5,000	-	自己資金	2020年9月	2021年8月	(注)2
当社	研究所 (大阪市淀川区)	全社共通	生産管理・研 究開発施設 (土地及び建 物)	830,000	292,589	借入金 増資資金	2021年7月	2022年12月	(注)2
当社	研究所 (大阪市淀川区)	AsReader事業	研究開発・評 価設備	20,000	-	増資資金	2022年12月	2023年8月	(注)2

(以下省略)